

秘匿情報管理サービス 匿名バンク

日立が長年培った「秘匿化技術」と「仮名化技術」による高いセキュリティで、クラウドを活用した自治体DXやEBPMを強力に推進します

住民情報のクラウド一元化で自治体の業務効率が向上

日立独自の秘匿化・乱数化技術により、高いセキュリティで住民情報のクラウド一元化を実現。自治体の健診予約業務や新型コロナワクチン予約業務を効率化しました。Webから24時間365日予約ができるようになり住民の利便性も向上しました。

【主な事例】愛媛県総合保健協会 WEB健診予約システム

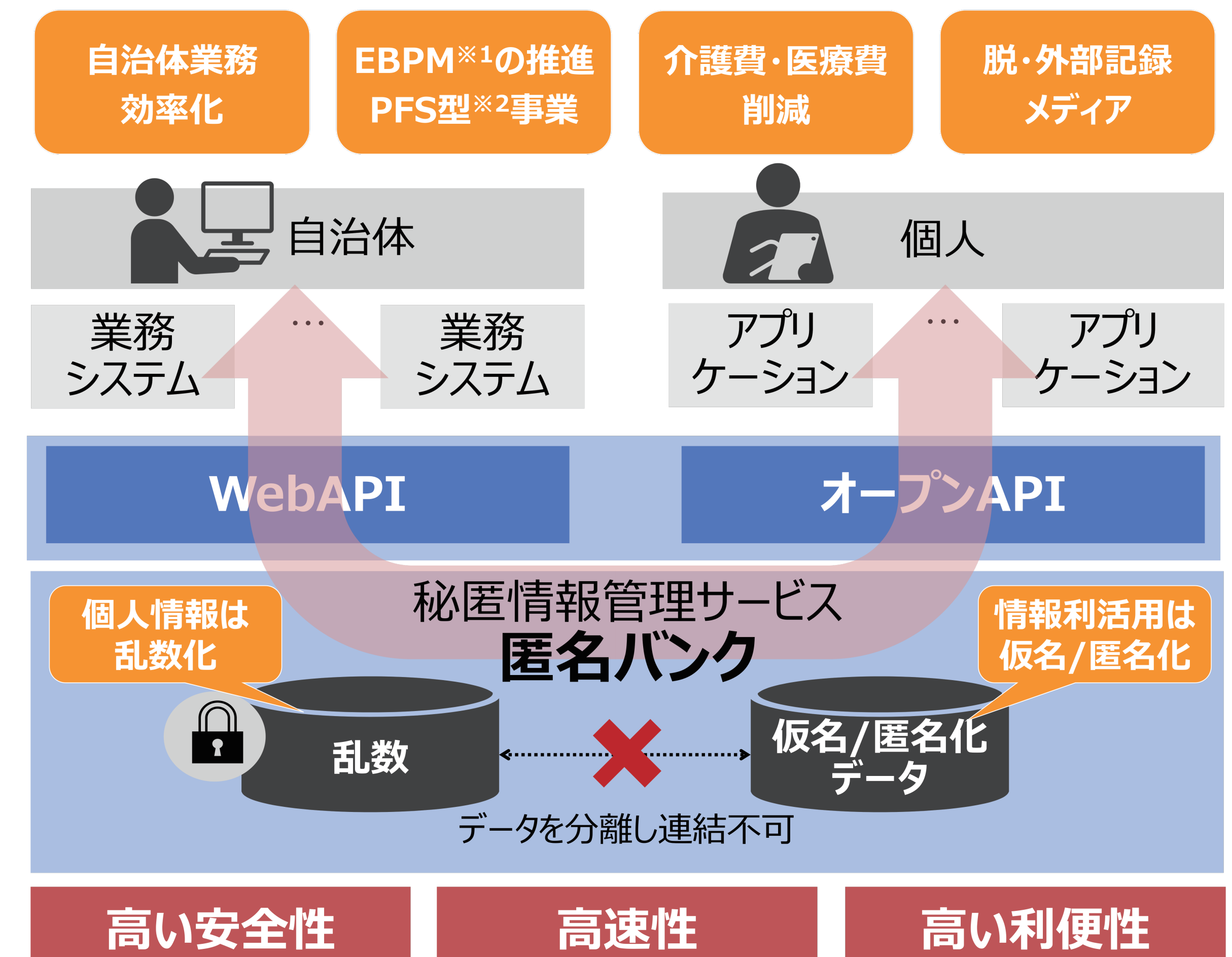
EBPMにより介護費削減に寄与するPFS型事業への貢献

「匿名バンク」とビッグデータのAI分析技術により、エビデンスに基づく自治体の事業推進に貢献し、住民のQoL向上をめざします。自治体の国保データベース(KDB)のデータとウェルネス企業のPHR(Personal Health Record)データをセキュアに突合し、官民一体の持続可能な介護予防事業の構築を進めています。

【主な事例】東京都次世代ウェルネスソリューション構築支援事業

脱・外部記録メディアで機密情報・住民情報の漏えいを防止

USBメモリーや書類の紛失が不安、でもクラウドに預けるのはさらに不安。匿名バンクを活用した「外部記録メディア不要サービス」は両方の不安を解消します。情報は利用者の手元でのみ暗号化・復号が可能。端末以外の通信経路からクラウド内部まで乱数化されるため、安心してクラウドを利用できます。もう持出しによる情報漏えいを心配する必要はありません。



のべ100社以上に実績のあるセキュリティ!
官民オープンデータ/改正個人情報保護法に対応!

※1:EBPM(Evidence Based Policy Making) エビデンスに基づいて、政策を企画立案し、質の高い行政サービスの提供を行うもの
 ※2:PFS(Pay For Success)型 成果連動型民間委託契約